

まちの話題



養老町民なわとび大会

2月4日(日)、総合体育館において、第36回養老町民なわとび大会が開催されました。

当日は、団体種目の「ひょうたんとび」に14チーム、「長なわとび」に11チーム、「ジュニアなわとび」には10チームの参加があり、個人種目の自由なわとびを含めて350人余りが大会を盛り上げました。

大人も子どもも一緒になって縄を跳び、声をかけ合い、多く跳んだチームへは拍手が起こり、身も心も温まる一面が見られました。



新記録目指して一生懸命跳ぶ子どもたち



挙手をし質問する児童たち

議会について学びました

1月29日(月)、町役場議場において、広幡小学校6年生の17人が地方自治の学習の一環として、議会について学びました。児童たちは、それぞれ議会のしくみなどについての質問をし、それに答える青山貞一議長、大橋三男副議長の回答を真剣に聞きメモをとるなどして、議会についての理解を深めていました。

行政相談出前教室

2月1日(木)、日吉小学校6年生が、「行政相談」について学びました。総務省行政監視行政相談課の九野顕好さん、町行政相談委員の西脇寛樹さんが講師として、身近な行政相談の事例を紹介するなどし、行政相談について児童たちに授業しました。

児童たちは「困ったことがあったら行政相談し、その要望でまちが良くなるといいと思いました」と感想を述べていました。



実際に相談のあった事例を紹介する行政相談員の西脇さんとそれを聞く児童たち